

ミスミグループ本社 2018年3月期 第1四半期 連結業績

～ 4-6月期は四半期決算として過去最高の売上高・利益を更新 ～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2018年3月期 第1四半期（2017年4月1日～2017年6月30日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減率
売上高	60,903	75,774	+24.4%
のれん等償却前 営業利益 ※	8,070	10,606	+31.4%
営業利益	7,496	10,019	+33.7%
純利益	5,223	6,858	+31.3%
1株当たり純利益	19.03円	24.69円	

※ Dayton Lamina Corporation 買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

<2018年3月期 第1四半期の連結業績ハイライト>

- 国内の販売堅調に加え、海外では中国、アジアの高伸長が寄与し、連結売上高は、対前年同期比 24.4%（現地通貨ベース 23.9%）の大幅増収を達成
 - 2018年3月期第1四半期の世界経済および日本経済は、全体として緩やかな回復基調が続きました。アメリカでは雇用者数、設備投資などが前四半期に対して増加するなど景気の回復傾向が見られました。中国では各種政策効果もあり、消費は堅調に推移し、その他のアジア各国および欧州においても緩やかな景気回復が続きました。また、日本でも個人消費や設備投資は引き続き堅調に推移し、企業収益や雇用情勢が改善しました。
 - このような環境において当社グループは、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献し、同時に事業拡大を加速させています。ITを核とした新たなものづくりに応えるため、引き続きウェブ戦略を推進し競争力を強化しました。また、海外における拠点展開として、最適調達を目的とした現地生産・現地調達を推進し、グローバル確実短納期体制の強化に努めました。事業別には、FA事業及び金型部品事業では自動車業界やエレクトロニクス業界等の需要を取り込み、VONA事業では品揃えの強化などによって国内が引き続き大きく伸長したことに加え、国際展開の推進により海外売上高も伸長しました。これらにより連結売上高を拡大することが出来ました。

- こうした結果、連結売上高は757億7千4百万円、前年同期比で24.4%（現地通貨ベース23.9%）の増収となりました。利益面につきましては、営業利益は100億1千9百万円（前年同期比+33.7%）、経常利益は99億5千9百万円（前年同期比+33.0%）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は68億5千8百万円（前年同期比+31.3%）となりました。四半期決算として、売上高、利益とも過去最高を更新しました。

2. 全セグメントで成長が継続

- 2018年3月期第1四半期のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高（百万円）		増減率	
	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	円ベース	現地通貨 ベース
FA事業	20,002	25,665	+28.3%	+27.6%
金型部品事業	16,707	19,698	+17.9%	+17.2%
VONA事業	24,193	30,410	+25.7%	+25.4%
合計	60,903	75,774	+24.4%	+23.9%

- FA事業は、旺盛な自動化需要を捉え、グローバルでQCT（高品質（Quality）、低コスト（Cost）、確実短納期（Time））を強化することにより、中国、アジアの高伸長が業績を牽引し、前年同期比28.3%の増収となりました。
- 金型部品事業は、自動車の新規型需要の獲得などで、中国、アジアにおける販売拡大が寄与した結果、前年同期比17.9%の増収となりました。
- VONA事業は、品揃えの強化などにより、国内業績が好調に推移したことに加え、中国、アジアの高伸長も寄与し、前年同期比25.7%の増収となりました。

3. 海外売上高は、引き続き中国、アジアにおける成長が牽引

- 2018年3月期第1四半期の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高（百万円）		増減率	
	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	32,761	38,744	+18.3%	—
海外	28,142	37,030	+31.6%	+30.5%
中国	10,444	14,637	+40.1%	+43.0%
アジア	7,175	10,470	+45.9%	+39.9%
アメリカ	6,319	6,978	+10.4%	+7.9%
ヨーロッパ	3,163	3,691	+16.7%	+16.3%
その他	1,038	1,252	+20.6%	+20.0%

- 日本では、自動化需要の取り込みやVONA事業での販売拡大などに努めた結果、前年同期比18.3%の増収となりました。
- 海外では、特に中国、アジアでの製造業の新たな自動化需要の積極的な取り込みが寄与して、前年同期比31.6%の大幅増収となりました。

4. 2018年3月期連結業績は売上・利益ともに引き続き過去最高を更新する見通し
- 2018年3月期の通期連結業績予想については、2017年5月11日公表の業績予想からの変更はありません。

2018年3月期 連結業績予想（2017年4月1日～2018年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想	290,000	31,700	31,100	21,600	78.39
前期実績	259,015	27,127	26,462	18,387	66.94
増減	+12.0%	+16.9%	+17.5%	+17.5%	—

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2018年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2018年3月期 第1四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

<p>この件に関するお問い合わせ 株式会社ミスミグループ本社 コーポレート・リレーション室 IR担当 Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7014 mail : cc@misumi.co.jp</p>
